

# 競技注意事項

## 1、規則

- ① 競技は2016年度(公財)日本陸上競技連盟規則、及び本競技会要項、申し合わせ事項によって行う。
- ② 走高跳以外のフィールド種目については、3回の試技をもって終了とする。

## 2、練習

- ① 8:45まで競技場内を練習に開放する。それ以降は競技場周辺、バックストレート等を使用すること。
- ② ウォーミングアップは、競技場周辺で危険防止に十分注意して行う。  
バックストレートは競技に支障のない限り認める。
- ③ フィールド競技の練習は、競技開始前に競技役員の指示により競技場内で行う。  
特に投てき種目については、安全に十分注意し競技場外での投てき練習は一切禁止する。

## 4、競技場・スパイクピンの長さ

この競技場は、全天候型の競技場です。

スパイクピンは、9mm以下の使用を厳守すること。ただし、走高跳の場合は12mm以下とする

## 5、招集・入退場

- ① 招集所は、第3コーナー外付近に設ける。(雨天時は、第4コーナー器具庫内に設ける)
- ② 招集時間及び完了時間は下記の通りとする。

種目	時刻
トラック競技	競技開始30分前開始 競技開始15分前完了
フィールド競技	競技開始45分前開始 競技開始30分前完了

- ③ 招集は1回で、上記の時刻までに競技者本人(代理人は認めない)が招集所に集合し、競技者係から点呼を受ける。点呼を受けた競技者は競技者係の指示に従う。
- ④ トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右腰後部につけること。  
(リレーは第4走者のみ)
- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。  
(スタート地点・競技場所でも集合しても出場を認められない。)
- ⑥ 競技場への入場については競技者係の指示に従う。  
トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に渡し、フィニッシュ側階段から各校待機場所に戻る。  
フィールド競技は、競技終了後競技役員の指示で競技場から退場する。

## 6、ナンバーカードおよび腰ナンバーカード

- ① ナンバーカードは、胸(腹ではない)と背にしわにならないように伸ばして、四隅をしっかりとつける。  
ただし、走高跳は胸または背だけでよい。
- ② トラック種目については、招集所において渡された腰ナンバーカードを右腰後部につける。  
(ただし、リレーは第4走者のみとする。)  
腰ナンバーカードは、フィニッシュ後、直ちに返却すること。
- ③ ナンバーカードは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。  
(男子は青地に黄色数字、女子は黄地に青色数字)

## 7、不正スタート

不正スタートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

## 8、800m及び3000m競技のスタート方法・位置について

- ① 共通男子・女子800m競技のスタート方法はセパレートスタートとする。

スタート位置は、内側4レーンまでが一人、外側4レーンは二人が各レーンのスタート位置につく。

- ② 共通男子3000m競技のスタート方法は、グループスタートとする。

スタート位置は、各組のレーン番号の2/3までが内側スタート、残りの1/3が外側スタートとなる。

なお、スタート10m以内には内側・外側を分離する縁石は設置しない。

## 9、オープンレーンについて

共通男・女800m競技はブレイクラインの交差する直前の各ライン上に黄色の角柱(もしくは代用縁石)を置く。

## 10、走高跳のバーの上げ方

走高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。(天候、その他諸事情・条件によって変更する場合もある)

競技種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	備考
共通男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以後の高さは、 審判長の指示による。
共通女子走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	

(通信標準記録)

## 11、リレー競技について

- ① リレー競技のオーダー用紙は、その競技の招集完了時刻の1時間前までに、招集所に2部提出する。

なお、オーダー用紙は招集所に準備してあります。

- ② リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。

- ③ リレーのマーカーの使用は1カ所とする。(第170条4、を適用)

## 12、記録

- ① この競技会の記録については、日本陸上競技連盟への公認申請を行います。

また、今回の記録は千葉県中学校通信陸上競技大会・千葉県中学校総合体育大会陸上競技大会・千葉県中学校新人陸上競技大会の参加選考記録として適用されます。

- ②トラック種目の競走競技はすべてのレースにおいて、写真判定(電気計時)を採用する。

## 13、競技からの除外

競技運営上、必要と認めた場合、審判長は特にレース圏外の競技者のレースを中止させることがある。

## 14、抗議

抗議申立書と預託金10,000円を添えて総務に提出。(記録発表後15分以内)

## 15、その他

- ① プログラム記載内容の訂正は、8:30までに総務へ申し出ること。

以後の訂正については、主催者側の誤編成・誤記等以外は受け付けない。

- ② 控所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努める。

(各学校の顧問の先生方へ。ゴミ・空缶等の持ち帰りの指導をよろしくお願いいたします。)

- ③ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。

- ④ グラウンドには、競技者・競技役員以外は入ってはいけない。

競技者は、フィールドを横断して試技場所への往復、本部前通行は厳に慎むこと。(スタンドを通過して競技場所に移動する) チームメイトのウェアなどを受け取りに、競技者以外がグラウンドに入ることを認めない。

- ⑤ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。

競技参加者は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。

- ⑥ 陸上競技場以外の松戸運動公園内施設は、借用していないので立ち入らないこと。